

高齢者の バリアフリーグッズ体験会



図書館のバリアフリー

高齢になると、目が悪くなって活字が読みにくくなったり、足腰が悪くなってかがんで低い棚にある本を手にとることが辛くなったり、耳が悪くなって司書さんとの会話で聞こえづらくなったりして、「図書館に通うことが難しいな。」と感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

でも、ご安心ください。

岐阜県図書館をはじめとして岐阜県内の図書館には、すべての人に読書を楽しんでいただくために、人的なサポートサービスや沢山のバリアフリーグッズ（読書支援機器や読書補助具）があります。

例えば目が悪くなって活字が読みづらい方には大活字本などの読みやすい本や朗読CDがあります。また耳の聞こえが悪い方には集音器を、そして話すことがつらい方には筆談器をご利用いただくことで、本を探したり、本を借りたりする上でのハードルを下げることができます。

高齢者のバリアフリーグッズ体験会

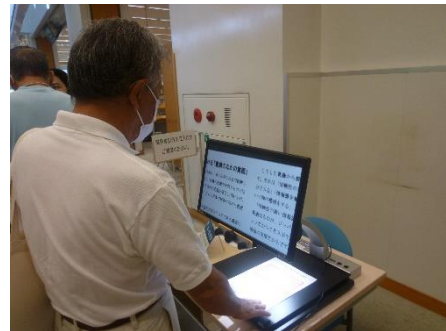
令和5年9月15日、岐阜県図書館で近くにお住いの三里地区老人クラブの方々をお招きして、『高齢者のバリアフリーグッズ体験会』が開催されました。

実際にバリアフリーグッズを手にとっていただく体験を通して、岐阜県図書館が行っているバリアフリーの取り組みについて知っていただきました。

「拡大読書器で新聞を読んだら読みやすそうだね。」「リーディングルーペ欲しいなあ。」「家にもあればいいのに。」と読書支援機器や読書補助具の使いやすさに参加者した方々からの評価は上々。

朗読CDのコーナーでは「今はこんなものまで借りられるのか。」と驚き、オーカムマイリーダーという最新読み上げ機能付きのAI視覚支援機器に興味し、「ここは図書館だったね、騒いで申し訳ない。」と笑い合う一幕も。

体験会を終え、「近所に住んでいるが、県図書館にこんなに良いサービスがあることを知らなかった。」「もっと周知した方がいい。」「他の地区の老人クラブにも是非体験会を開催してあげて。」などのご意見が寄せられていました。



岐阜県図書館は、令和2年10月からバリアフリーコーナーを設置し、障がい者サービスやバリアフリーの取組みをパネルで常設展示しています。

また、職員にお声がけいただければバリアフリーグッズをご利用いただけます。

この記事を読んでご興味をお持ちになった方は是非、岐阜県図書館へお出かけください。

